

2.0.1.調達案件情報

連携取得【他システム⇒電子入札システム】

No	項 目	説 明	属 性	桁数	省略	設定値 ※設定がない場合は「[初期値]」となる。
1	機関番号	キー。機関番号を示す。	VARCHAR2	7	必須	「機関マスタ」参照。CSVは固定値“2900”を設定。
2	部局	キー。下記「課係」が属する部局コードを示す。	VARCHAR2	6	必須	「部局マスタ」参照。
3	連携案件番号	キー。他システム発番の案件番号を示す。	VARCHAR2	60	必須	任意。但し、最低でも部局毎にユニークとなる。
4	課係	当該案件の入札を執行する課係コードを示す。	VARCHAR2	6	※	「課係マスタ」参照。 ※将来自動化する場合は設定必須。手動連携では電子入札システム側にて所定の課係コードを付加する。
5	調達案件名称	調達案件名称を示す。	VARCHAR2	256	必須	日本語。128文字(256byte)超は切り捨てる。
6	品目分類	奈良県品目コードは“10”工事, “20”コンサル となる。	VARCHAR2	6	可	「品目マスタ」参照。
7	入札方式	入札方式番号を示す。	VARCHAR2	7	必須	「入札方式マスタ」参照。
8	入札時VE提出有無	VE提案書提出の有無を示す。※未使用。	CHAR	1	可	“0”なし[初期値], “1”あり。※CSVは“”で可。
9	落札方式	落札方式を示す。	CHAR	1	可	“0”価格競争[初期値], “4”総合評価
10	調達区分	工事／コンサル区分を示す。	CHAR	2	可	「工種マスタ」参照。
11	工種(業種)	工種(業種)コードを示す。	VARCHAR2	7	可	調達区分は“00”工事[初期値], “01”コンサル。
12	内訳書有無	入札書内訳書の添付有無を示す。	CHAR	1	可	“0”添付なし[初期値], “1”添付必須
13	工事または業務内容	工事または業務の内容を示す。	VARCHAR2	200	可	日本語。100文字(200byte)超は切り捨てる。
14	公告文等URL		VARCHAR2	100	可	100byte超は切り捨てる。
15	入札説明書等URL		VARCHAR2	100	可	100byte超は切り捨てる。
16	(契約担当官)官職名	各種通知書に記載する契約担当官内容を示す。	VARCHAR2	40	可	日本語。20文字(40byte)超は切り捨てる。
17	(契約担当官)部局名	各種通知書に記載する契約担当官内容を示す。	VARCHAR2	60	可	日本語。30文字(60byte)超は切り捨てる。
18	(契約担当官)事務所名	各種通知書に記載する契約担当官内容を示す。	VARCHAR2	60	可	日本語。30文字(60byte)超は切り捨てる。
19	(契約担当官)役職名	各種通知書に記載する契約担当官内容を示す。	VARCHAR2	50	可	日本語。25文字(50byte)超は切り捨てる。
20	(契約担当官)氏名	各種通知書に記載する契約担当官内容を示す。	VARCHAR2	40	可	日本語。20文字(40byte)超は切り捨てる。
21	公告日	入札公告日を示す。	DATE		必須	CSVは'yyyy/MM/dd'。
22	入札説明書説明請求期限		DATE		可	CSVは'yyyy/MM/dd HH:mm'。
23	参加申請書受付開始日時	公募型は技術資料受付開始日時のこと。	DATE		可	CSVは'yyyy/MM/dd HH:mm'。
24	参加申請書受付締切日時	公募型は技術資料受付締切日時のこと。	DATE		可	CSVは'yyyy/MM/dd HH:mm'。
25	確認通知書発行開始日時	公募型・指名競争は指名通知書発行開始日時のこと。	DATE		可	CSVは'yyyy/MM/dd HH:mm'。
26	確認通知書発行終了日時	公募型・指名競争は指名通知書発行終了日時のこと。	DATE		可	CSVは'yyyy/MM/dd HH:mm'。
27	入札書受付開始予定日時	入札書提出開始日時を示す。	DATE		可	CSVは'yyyy/MM/dd HH:mm'。
28	入札書受付締切予定日時	入札締切(予定)日時を示す。	DATE		可	CSVは'yyyy/MM/dd HH:mm'。
29	内訳書開封予定日時	内訳書開封(予定)日時を示す。	DATE		可	CSVは'yyyy/MM/dd HH:mm'。
30	開札予定日時	開札(予定)日時を示す。	DATE		可	CSVは'yyyy/MM/dd HH:mm'。
31	履行期限区分	工期または履行期限の指定方法を示す。	CHAR	1	可	“0”設定なし[初期値], “1”日付指定, “2”日数指定
32	履行期限(工期終了日)	履行期限区分“1”のときの履行期限(日付)を示す。	DATE		可	CSVは'yyyy/MM/dd HH:mm'。
33	履行期限(工期日数)	履行期限区分“2”のときの履行期限(日数)を示す。	NUMBER	4	可	契約日から〇〇日を設定。
34	工事または納入場所	工事場所を示す。KAISATSU_BASHOのこと。	VARCHAR2	100	可	日本語。50文字(100byte)超は切り捨てる。
35	現場説明会日時	現場説明会を開催するときの日時を示す。	DATE		可	CSVは'yyyy/MM/dd HH:mm'。
36	現場説明会場所	現場説明会を開催するときの場所を示す。	VARCHAR2	60	可	日本語。30文字(60byte)超は切り捨てる。
37	予定価格(税抜)	予定価格(税抜き)を示す。	VARCHAR2	20	可	金額はカンマ(,)を含まない半角数字20桁以内を設定。 CSVは“0”・空(“”)を許可。
38	予定価格(税込)	予定価格(税込み)を示す。	VARCHAR2	20	可	金額はカンマ(,)を含まない半角数字20桁以内を設定。 CSVは“0”・空(“”)を許可。
39	予定価格事前公表有無	予定価格の事前公表有無を示す。	CHAR	1	可	“0”公表なし[初期値], “1”事前公表あり
40	基準価区分	調査基準・最低制限・低入札価格を識別する。	CHAR	1	可	“0”調査基準価格[初期値] “1”最低制限価格 “2”低入札価格
41	基準価格(税抜)	基準価格(税抜き)を示す。	NUMBER	20	可	金額はカンマ(,)を含まない半角数字20桁以内を設定。 CSVは“0”・空(“”)を許可。
42	基準価格(税込)	基準価格(税込み)を示す。	NUMBER	20	可	金額はカンマ(,)を含まない半角数字20桁以内を設定。 CSVは“0”・空(“”)を許可。
43	基準価事前公表有無	基準価格の事前公表有無を示す。	CHAR	1	可	“0”公表なし[初期値], “1”事前公表あり
44	閲覧開始日時	設計図書等の閲覧開始日時を示す。	DATE		可	CSVは'yyyy/MM/dd HH:mm'。
45	閲覧終了日時	設計図書等の閲覧終了日時を示す。	DATE		可	CSVは'yyyy/MM/dd HH:mm'。
46	閲覧場所	設計図書等の閲覧場所を示す。	VARCHAR2	100	可	日本語。50文字(100byte)超は切り捨てる。
47	(総合評価)係数	落札方式“4”のときの係数(除算方式)を示す。	VARCHAR2	9	可	係数はカンマ(,)を含まない半角数字9桁以内を設定。0～999 を想定する。 CSVは“0”・空(“”)を許可。

48	(総合評価)基準評価値	落札方式“4”のときの基準評価値(従来版)を示す。	VARCHAR2	9	可	基準評価値は小数点(.)を含めて半角数字9桁以内を設定。カンマ(,)は不要。0～9999.999 を想定する。 CSVは“0”・空(””)を許可。
49	(総合評価)評価点の満点	落札方式“4”のときの標準点(除算式)または価格評価点の満点(加算方式2)を示す。 奈良県の場合は60点が満点となる。	VARCHAR2	20	可	評価点は小数点(.)を含めて半角数字20桁以内を設定。カンマ(,)は不要。0～99999.999 を想定する。 CSVは“0”・空(””)を許可。
50	(総合評価)評価項目名称	落札方式“4”のときの総合評価項目を示す。	VARCHAR2	2000	可	日本語。 項目毎の区切りに改行コードの挿入が必要。 2000byte超は切捨てる。
51	(総合評価)評価値計算方法	落札方式“4”のときの評価値計算方法を示す。	CHAR	2	可	“00”評価値手入力(従来版) “01”自動計算／除算方式(拡充版)[初期値] “02”自動計算／加算方式1(拡充版) “03”自動計算／加算方式2(拡充版)
52	(事後審査)資料提出方法	事後審査を行う際の審査資料提出方法を示す。	CHAR	1	可	“1”郵送または持参[初期値] “2”事後審査時に添付して提出(システム利用)
53	(資格)判定有無	受注者側の入札参加資格チェック有無を示す。	CHAR	1	可	“0”チェックなし[初期値], “1”チェックあり
54	(資格)所在地区分	入札参加に必要な資格「会社所在地」を示す。	CHAR	1	可	“0”制限なし[初期値] “1”本店県内所在 “2”支店等県内所在 “3”近畿圏(2府4県)本支店所在 “4”近畿圏(2府4県+福井県)本支店所在
55	(資格)管轄1	資格「管轄1」、「No2. 部局」に所属する課係コード。	VARCHAR2	6	可	管轄に1以上の課係コードを設定する場合、申請者はいずれかの管轄に属さなければならない。  CSVには念のため10個の管轄を持つ。  “”指定なし[初期値]。他は「管轄マスタ」参照。
56	(資格)管轄2	資格「管轄2」、「No2. 部局」に所属する課係コード。	VARCHAR2	6	可	
57	(資格)管轄3	資格「管轄3」、「No2. 部局」に所属する課係コード。	VARCHAR2	6	可	
58	(資格)管轄4	資格「管轄4」、「No2. 部局」に所属する課係コード。	VARCHAR2	6	可	
59	(資格)管轄5	資格「管轄5」、「No2. 部局」に所属する課係コード。	VARCHAR2	6	可	
60	(資格)管轄6	資格「管轄6」、「No2. 部局」に所属する課係コード。	VARCHAR2	6	可	
61	(資格)管轄7	資格「管轄7」、「No2. 部局」に所属する課係コード。	VARCHAR2	6	可	
62	(資格)管轄8	資格「管轄8」、「No2. 部局」に所属する課係コード。	VARCHAR2	6	可	
63	(資格)管轄9	資格「管轄9」、「No2. 部局」に所属する課係コード。	VARCHAR2	6	可	
64	(資格)管轄10	資格「管轄10」、「No2. 部局」に所属する課係コード。	VARCHAR2	6	可	
65	(資格)市町村1	資格「市町村1」、奈良県内の市区町村コードを示す。	CHAR	3	可	“”指定なし[初期値]。他は「市区町村マスタ」参照。  都道府県コードでいうと、奈良県は“29”である。  市町村に1以上の市区町村コードを設定する場合、申請者本店はいずれかの市町村に所在しなければならない。
66	(資格)市町村2	資格「市町村2」、奈良県内の市区町村コードを示す。	CHAR	3	可	
67	(資格)市町村3	資格「市町村3」、奈良県内の市区町村コードを示す。	CHAR	3	可	
68	(資格)市町村4	資格「市町村4」、奈良県内の市区町村コードを示す。	CHAR	3	可	
69	(資格)市町村5	資格「市町村5」、奈良県内の市区町村コードを示す。	CHAR	3	可	
70	(資格)市町村6	資格「市町村6」、奈良県内の市区町村コードを示す。	CHAR	3	可	
71	(資格)市町村7	資格「市町村7」、奈良県内の市区町村コードを示す。	CHAR	3	可	
72	(資格)市町村8	資格「市町村8」、奈良県内の市区町村コードを示す。	CHAR	3	可	
73	(資格)市町村9	資格「市町村9」、奈良県内の市区町村コードを示す。	CHAR	3	可	
74	(資格)市町村10	資格「市町村10」、奈良県内の市区町村コードを示す。	CHAR	3	可	
75	(資格)業種1調達区分	資格「保有業種1」の工事／コンサル区分を示す。	CHAR	2	可	調達区分は“00”工事[初期値 または No.10], “01”コンサル。CSVは“”で可。  工種(業種)コード“”は指定なし[初期値]。他は調達区分＋工種(業種)コードで「工種マスタ」参照。  申請年度は今回未使用。念のため項目は残すが、CSVは“”で可。  等級は “”指定なし[初期値], “A1”, “A”～“E” で、申請者が保有する業種はこれと同じ格付けである必要がある。  必要保有業種に1以上の工種(業種)コードを設定する場合、申請者はいずれかの業種を保有する必要がある。  業種1～10の中に工事業種とコンサル業種が混在することはできない。(データ連携時のチェックなし)
76	(資格)業種1工種(業種)	資格「保有業種1」の業種コードを示す。	VARCHAR2	7	可	
77	(資格)業種1申請年度	資格「保有業種1」の申請年度を示す。	NUMBER	4	可	
78	(資格)業種1等級	資格「保有業種1」の等級を示す。	VARCHAR2	5	可	
79	(資格)業種2調達区分	資格「保有業種2」の工事／コンサル区分を示す。	CHAR	2	可	
80	(資格)業種2工種(業種)	資格「保有業種2」の業種コードを示す。	VARCHAR2	7	可	
81	(資格)業種2申請年度	資格「保有業種2」の申請年度を示す。	NUMBER	4	可	
82	(資格)業種2等級	資格「保有業種2」の等級を示す。	VARCHAR2	5	可	
83	(資格)業種3調達区分	資格「保有業種3」の工事／コンサル区分を示す。	CHAR	2	可	
84	(資格)業種3工種(業種)	資格「保有業種3」の業種コードを示す。	VARCHAR2	7	可	
85	(資格)業種3申請年度	資格「保有業種3」の申請年度を示す。	NUMBER	4	可	業種1～10の中に工事業種とコンサル業種が混在することはできない。(データ連携時のチェックなし)
86	(資格)業種3等級	資格「保有業種3」の等級を示す。	VARCHAR2	5	可	
87	(資格)業種4調達区分	資格「保有業種4」の工事／コンサル区分を示す。	CHAR	2	可	
88	(資格)業種4工種(業種)	資格「保有業種4」の業種コードを示す。	VARCHAR2	7	可	
89	(資格)業種4申請年度	資格「保有業種4」の申請年度を示す。	NUMBER	4	可	
90	(資格)業種4等級	資格「保有業種4」の等級を示す。	VARCHAR2	5	可	
91	(資格)業種5調達区分	資格「保有業種5」の工事／コンサル区分を示す。	CHAR	2	可	
92	(資格)業種5工種(業種)	資格「保有業種5」の業種コードを示す。	VARCHAR2	7	可	
93	(資格)業種5申請年度	資格「保有業種5」の申請年度を示す。	NUMBER	4	可	
94	(資格)業種5等級	資格「保有業種5」の等級を示す。	VARCHAR2	5	可	
95	(資格)業種6調達区分	資格「保有業種6」の工事／コンサル区分を示す。	CHAR	2	可	業種1～10の中に工事業種とコンサル業種が混在することはできない。(データ連携時のチェックなし)
96	(資格)業種6工種(業種)	資格「保有業種6」の業種コードを示す。	VARCHAR2	7	可	
97	(資格)業種6申請年度	資格「保有業種6」の申請年度を示す。	NUMBER	4	可	
98	(資格)業種6等級	資格「保有業種6」の等級を示す。	VARCHAR2	5	可	
99	(資格)業種7調達区分	資格「保有業種7」の工事／コンサル区分を示す。	CHAR	2	可	
100	(資格)業種7工種(業種)	資格「保有業種7」の業種コードを示す。	VARCHAR2	7	可	
101	(資格)業種7申請年度	資格「保有業種7」の申請年度を示す。	NUMBER	4	可	
102	(資格)業種7等級	資格「保有業種7」の等級を示す。	VARCHAR2	5	可	
103	(資格)業種8調達区分	資格「保有業種8」の工事／コンサル区分を示す。	CHAR	2	可	
104	(資格)業種8工種(業種)	資格「保有業種8」の業種コードを示す。	VARCHAR2	7	可	
105	(資格)業種8申請年度	資格「保有業種8」の申請年度を示す。	NUMBER	4	可	業種1～10の中に工事業種とコンサル業種が混在することはできない。(データ連携時のチェックなし)
106	(資格)業種8等級	資格「保有業種8」の等級を示す。	VARCHAR2	5	可	
107	(資格)業種9調達区分	資格「保有業種9」の工事／コンサル区分を示す。	CHAR	2	可	
108	(資格)業種9工種(業種)	資格「保有業種9」の業種コードを示す。	VARCHAR2	7	可	
109	(資格)業種9申請年度	資格「保有業種9」の申請年度を示す。	NUMBER	4	可	
110	(資格)業種9等級	資格「保有業種9」の等級を示す。	VARCHAR2	5	可	
111	(資格)業種10調達区分	資格「保有業種10」の工事／コンサル区分を示す。	CHAR	2	可	
112	(資格)業種10工種(業種)	資格「保有業種10」の業種コードを示す。	VARCHAR2	7	可	
113	(資格)業種10申請年度	資格「保有業種10」の申請年度を示す。	NUMBER	4	可	
114	(資格)業種10等級	資格「保有業種10」の等級を示す。	VARCHAR2	5	可	
115	予備1	予備。※未使用。	VARCHAR2	100	可	※CSVは“”で可。
116	予備2	予備。※未使用。	VARCHAR2	100	可	※CSVは“”で可。

1. CSVファイルが日本語を含む場合、文字コードは SJIS とする。
2. CSVファイルにヘッダ・レコードはない、トレーラもエンド・レコードもない。すべて、複数のデータ・レコードのみで構成されるものとする。
3. データ・レコードの列数は固定で ‘116’ とし、各列は『』(ダブルクォーテーション)で囲み、『.』(カンマ)で区切るものとする。例) “2900”, “123”, “あいいうえお”
4. 1行末尾の改行コードは Java 「System.getProperty(“line.separator”)」とし、改行コードのみの(空)行は読み飛ばす。
5. 1つのCSVファイルは、1以上複数の案件情報で構成するものとする。

2.0.2.指名業者情報

連携取得【他システム⇒電子入札システム】

No	項 目	説 明	属 性	桁数	省略	設定値 ※設定がない場合は「[初期値]」となる。
1	機関番号	キー。機関番号を示す。	VARCHAR2	7	必須	「機関マスタ」参照。CSVは固定値“2900”を設定。
2	部局コード	キー。下記「課係」が属する部局コードを示す。	VARCHAR2	6	必須	「部局マスタ」参照。
3	連携案件番号	キー。他システム発番の案件番号を示す。	VARCHAR2	60	必須	任意。但し、最低でも部局毎にユニークとなる。
4	利用者登録番号	キー。他システム発番(10桁)の業者番号を示す。 電子入札システム受注者番号(下10桁)と同期しており、連携取得時に体系を(全16桁に)変換する。	VARCHAR2	16	必須	最大10桁の半角数字。
5	J V参加フラグ	指名業者のJ V参加有無を示す。	CHAR	1	必須	“0”単独[初期値]，“1”J V参加
6	共同企業体名称	J V参加フラグ“1”のときの共同企業体名称を示す。	VARCHAR2	120	※	日本語。60文字(120byte)超は切り捨てる。 ※J V参加フラグ“1”のときは設定必須。
7	指名順	業者の指名順を示す。※未使用。	NUMBER	4	可	※CSVは“”で可。
8	予備 1	予備。※未使用。	VARCHAR2	100	可	※CSVは“”で可。
9	予備 2	予備。※未使用。	VARCHAR2	100	可	※CSVは“”で可。

1. CSVファイルが日本語を含む場合、文字コードは SJIS とする。
2. CSVファイルにヘッダ・レコードはない、トレーラもエンド・レコードもない。すべて、複数のデータ・レコードのみで構成されるものとする。
3. データ・レコードの列数は固定で ‘9’ とし、各列は『』(ダブルクォーテーション)で囲み、『,』(カンマ)で区切るものとする。例) “2900”, “123”, “あいいうえお”
4. 1 行末尾の改行コードは Java 「System.getProperty(“line.separator”)」とし、改行コードのみの(空)行は読み飛ばす。
5. 1 つのCSVファイルは、1 以上複数の案件と各案件に指名する1 以上複数の業者情報で構成するものとする。
6. 電子入札システムに存在しない案件に対する指名は不可。つまり、事前の連携「調達案件情報取得」に失敗した案件に対する業者の指名は不可とする。
7. 入札方式が “2002027”指名競争入札 である案件に対してのみ業者の指名を許可。これ以外の入札方式の案件に指名するとはできない。但し、指名競争入札以外であっても、”電子入札システム継承時に指名競争入札へ変更された公告済み案件” に対する指名を許可する。
8. 間違っていて取り込んだ指名業者は、電子入札システム『審査一覧画面』から指名業者の削除を行うものとする。当連携「指名業者情報取得」に削除機能はない。

2.1.1.業者基本情報

連携取得【他システム⇒電子入札システム】

No	項 目	説 明	属 性	桁数	省略	設定値 ※設定がない場合は「[初期値]」となる。
1	機関番号	キー。機関番号を示す。	VARCHAR2	7	必須	「機関マスタ」参照。CSVは固定値“2900”を設定。
2	公共／物品区分	キー。公共・物品を識別する。	CHAR	1	必須	“0”公共，“1”物品。CSVは固定値“0”を設定。
3	利用者登録番号	キー。他システム発番(10桁)の業者番号を示す。 電子入札システム受注者番号(下10桁)と同期しており、連携取得時に体系を(全16桁に)変換する。	VARCHAR2	16	必須	最大10桁の半角数字。 機関内で公共・物品別にユニークでなければならない。
4	業者番号(他システム用)	他システムが独自に管理している(8桁)の業者番号を示す。(電入「受注者番号」「登録番号」とは無関係) 利用者登録番号「n」に対して業者番号は「1」となる。 入札結果情報を返す際にも付加する。	VARCHAR2	8	必須	最大8桁の半角数字。
5	業者名称	業者名称を漢字で示す。	VARCHAR2	120	必須	日本語。60文字(120byte)超は切り捨てる。
6	業者名称(カナ)	業者名称をカナで示す。※未使用。	VARCHAR2	120	可	※CSVは“”で可。
7	業者郵便番号	本店(本社)の郵便番号を示す。	VARCHAR2	8	必須	8byte超は切り捨てる。例)810-0001
8	業者住所	本店(本社)の住所を示す。	VARCHAR2	120	必須	日本語。60文字(120byte)超は切り捨てる。 所在地区分“3”、“4”を求めるのにも使用する。
9	代表者氏名	代表者名を漢字で示す。	VARCHAR2	70	必須	日本語。35文字(70byte)超は切り捨てる。
10	代表者役職	代表者役職名を漢字で示す。	VARCHAR2	16	可	日本語。8文字(16byte)超は切り捨てる。 省略可とする。
11	代表電話番号	本店(本社)の代表電話番号を示す。	VARCHAR2	25	必須	25byte超は切り捨てる。例)092-111-2222
12	代表FAX番号	本店(本社)のFAX番号を示す。省略時は“--”となる。	VARCHAR2	25	可	25byte超は切り捨てる。例)092-111-3333
13	業者メールアドレス	本店(本社)のメールアドレスを示す。	VARCHAR2	100	可	100byte超は切り捨てる。例)xxx@xxx.xxx.xxx
14	連絡先名称	連絡先となる支店名・営業所名・部署名等を示す。	VARCHAR2	120	可	連絡先(支店等)がない場合は省略可。
15	連絡先郵便番号	連絡先の郵便番号を示す。	VARCHAR2	8	可	連絡先(支店等)がない場合は省略可。
16	連絡先住所	連絡先の住所を示す。	VARCHAR2	120	可	連絡先(支店等)がない場合は省略可。 所在地区分“3”、“4”を求めるのにも使用する。
17	連絡先役職	連絡先となる支店営業所等代表者の役職名を示す。	VARCHAR2	16	可	連絡先(支店等)がない場合は省略可。
18	連絡先氏名	連絡先となる支店営業所等代表者の氏名を示す。	VARCHAR2	40	可	連絡先(支店等)がない場合は省略可。
19	連絡先電話番号	連絡先の電話番号を示す。	VARCHAR2	25	可	連絡先(支店等)がない場合は省略可。
20	連絡先FAX番号	連絡先のFAX番号を示す。省略時は“--”となる。	VARCHAR2	25	可	連絡先(支店等)がない場合は省略可。
21	連絡先メールアドレス	連絡先のメールアドレスを示す。	VARCHAR2	100	可	連絡先(支店等)がない場合は省略可。
22	J V 区分	J V 業者か単独業者かを識別する。	CHAR	1	必須	“0”単独業者，“1”経常J V，“2”特定J V
23	代表業者番号	J V 区分“1”、“2”のとき、代表幹事会社の利用者登録番号を示す。	VARCHAR2	16	※	最大10桁の半角数字。 ※J V 区分が“1”または“2”のとき必須。
24	旧利用者登録番号	業者番号の値が変更になる場合に、この‘旧利用者登録番号’を設定する。この場合、上記「利用者登録番号」が新しい業者番号になる。※未使用。	VARCHAR2	16	※	最大10桁の半角数字。 ※レコードが業者番号の変更を指示するものではない場合は値を設定してはならない。 ※業者番号洗い換えには未対応。CSVは“”を設定する。
25	有効期間(自)	当該業者の入札参加資格有効期間(開始)年月日を示す。	DATE		※	CSVは‘yyyy/MM/dd’。 ※期限を設けない(無期限である)場合は値を設定しない。
26	有効期間(至)	当該業者の入札参加資格有効期間(終了)年月日を示す。通常、この期限を越える業者は入札参加資格を失う。	DATE		※	CSVは‘yyyy/MM/dd’。 ※期限を設けない(無期限である)場合は値を設定しない。
27	所在地区分	業者の会社所在地を示す。 連携取得時、「所在地区分」が“0”地域外 のときは近畿圏の判定を行う。「業者住所」or「連絡先住所」が“滋賀”、“京都”、“大阪”、“兵庫”、“和歌山”で始まる場合は“3”近畿圏(2府4県)本支店所在、“福井”で始まる場合は“4”近畿圏(2府4県+福井県)本支店所在 へ変換する。	CHAR	1	必須	“0”地域外 “1”本店県内所在 “2”支店等県内所在 “3”近畿圏(2府4県)本支店所在 “4”近畿圏(2府4県+福井県)本支店所在 CSVは“0”、“1”、“2”で可。
28	管轄／部局	業者を管轄する土木事務所(部局コード)を示す。	VARCHAR2	6	可	“10”県土マネジメント部[初期値]。設定がない場合は“10”県土マネジメント部とする。
29	管轄／課係	業者を管轄する土木事務所(課係コード)を示す。	VARCHAR2	6	可	「管轄マスタ」参照。設定がない場合は管轄外とする。
30	県内／市町村	会社(本店)が所在する奈良県内の市町村(市区町村コード)を示す。	CHAR	3	可	「市区町村マスタ」参照。設定がない場合は県外とする。 例えば、奈良市の市区町村コードは“201”、大和高田市は“202”となる。尚、奈良県(都道府県コード)は“29”である。 “0”追加または変更(上書)，“2”削除(廃業)
31	廃業区分	電子入札システム受注者情報を論理削除(廃業)する。	CHAR	1	必須	
32	予備 1	予備。※未使用。	VARCHAR2	100	可	※CSVは“”で可。
33	予備 2	予備。※未使用。	VARCHAR2	100	可	※CSVは“”で可。

1. CSVファイルが日本語を含む場合、文字コードは SJIS とする。
2. CSVファイルにヘッダ・レコードはない、トレーラもエンド・レコードもない。すべて、複数のデータ・レコードのみで構成されるものとする。
3. データ・レコードの列数は固定で ‘33’ とし、各列は『』(ダブルクォーテーション)で囲み、『,』(カンマ)で区切るものとする。例) “2900”, “123”, “あいうえお”
4. 1行末尾の改行コードは Java「System.getProperty(“line.separator”)」とし、改行コードのみの(空)行は読み飛ばす。
5. 1つのCSVファイルは、1以上複数の業者基本情報で構成するものとする。
6. 電子入札システムの「受注者番号」「登録番号」は、“2900”(4桁) + <公共／物品区分(1桁)> + “0”(1桁) + <利用者登録番号(10桁)> 全16桁。  
例えば “2900001234567890” (= “2900” + “0” + “0” + “1234567890”) となる。
7. 廃業区分に“2”(廃業)を指示しない限り、電子入札システムに既に存在する受注者情報は上書き、存在しない場合に新しい業者として登録する。尚、廃業区分が“2”(廃業)である場合は、キー以外の項目を電子入札システム受注者情報へは反映しない。(キー以外の項目の値を省略しても可とする)

2.1.2.業者保有業種情報

連携取得【他システム⇒電子入札システム】

No	項 目	説 明	属 性	桁数	省略	設定値 ※設定がない場合は「[初期値]」となる。
1	機関番号	キー。機関番号を示す。	VARCHAR2	7	必須	「機関マスタ」参照。CSVは固定値“2900”を設定。
2	公共／物品区分	キー。公共・物品を識別する。	CHAR	1	必須	“0”公共, “1”物品。CSVは固定値“0”を設定。
3	利用者登録番号	キー。他システム発番(10桁)の業者番号を示す。 電子入札システム受注者番号(下10桁)と同期しており、連携取得時に体系を(全16桁に)変換する。	VARCHAR2	16	必須	最大10桁の半角数字。 機関内で公共・物品別にユニークでなければならない。
4	調達区分	キー。工事／コンサル区分を示す。	CHAR	2	必須	「工種マスタ」参照。 調達区分は “00”工事, “01”コンサル。
5	工種(業種)	キー。工種(業種)コードを示す。	VARCHAR2	7	必須	
6	申請年度	キー。業者保有業種の申請年度を示す。	NUMBER	4	必須	西暦年 4 桁。
7	業者番号(他システム用)	他システムが独自に管理している(8桁)の業者番号を示す。(電子入札システムでは未使用)	VARCHAR2	8	必須	最大8桁の半角数字。
8	等級	保有する業種の格付(ランク)を示す。	VARCHAR2	5	可	“A1”Aランク, “A”Aランク, “B”Bランク, “C”Cランク, “D”Dランク, “E”Eランク 設定がない場合はランク外とする。
	建設業許可日	保有する業種の建設業許可日を示す。	DATE		可	CSVは'yyyy/MM/dd'。 設定がない場合は 2000/01/01 とする。
	建設業許可有効期限	保有する業種の建設業許可有効期限を示す。	DATE		可	以下の項目を削除する。 ・建設業許可日 ・建設業許可有効期限 ・経営事項審査基準日 設定がない場合は 2999/12/31 とする。
	経営事項審査基準日	保有する業種の経営事項審査基準日を示す。尚、当該業種の適用開始日は「建設業許可日」と「経営事項審査基準日」の古いほうを適用する。	DATE		可	・経営事項審査有効期限 代わりに、設定がない場合は 2000/01/01 とする。
	経営事項審査有効期限	保有する業種の経営事項審査有効期限を示す。尚、当該業種の有効期限は「建設業許可有効期限」と「経営事項審査有効期限」の新しいほうを適用する。	DATE		可	・有効期間(自) ・有効期間(至) を追加。 CSVは'yyyy/MM/dd'。 設定がない場合は 2999/12/31 とする。
9	有効期間(自)	業種別・申請年度別の有効期間(自)年月日を示す。	DATE		可	CSVは'yyyy/MM/dd'。 設定がない場合は 2000/01/01 とする。
10	有効期間(至)	業種別・申請年度別の有効期間(至)年月日を示す。	DATE		可	CSVは'yyyy/MM/dd'。 設定がない場合は 2999/12/31 とする。
11	廃業区分	当該業者の電子入札システム保有業種情報を物理削除(廃業)する。	CHAR	1	必須	“0”有効, “2”削除(廃業)

1. CSVファイルが日本語を含む場合、文字コードは SJIS とする。
2. CSVファイルにヘッダ・レコードはない、トレーラもエンド・レコードもない。すべて、複数のデータ・レコードのみで構成されるものとする。
3. データ・レコードの列数は固定で ‘11’ とし、各列は『』(ダブルクォーテーション)で囲み、『,』(カンマ)で区切るものとする。例) “2900”, “123”, “あいうえお”
4. 1 行末尾の改行コードは Java 「System.getProperty(“line.separator”)」とし、改行コードのみの(空)行は読み飛ばす。
5. 1 つのCSVファイルは、 1 以上複数業者と各業者が保有する 1 以上複数の業種情報で構成するものとする。
6. 廃業区分に “2”(廃業)を指示した業種は、当該業者が保有する業種から(個別に)物理的に削除するものとする。
7. 業者基本情報と業者保有業種情報はペア または 業者保有業種情報単独で連携取得するものとする。但し、画面から ‘業者保有業種の再作成’ を指示した場合、今回対象となる業者の保有業種情報は一旦すべて削除、その後、最新の保有業種情報を再作成するものとする。

2.2.1.入札結果(案件・業者)情報

連携出力【電子入札システム⇒他システム】

“可”はCSV列値が空(”)である可能性を示す↓

No	項 目	説 明	属 性	桁数	省略	設定値 ※設定がない場合は ‘[初期値]’ となる。
1	機関番号	キー。機関番号を示す。	VARCHAR2	7	必須	「機関マスタ」参照。“2900”固定。
2	部局	キー。下記「課係」が属する部局コードを示す。	VARCHAR2	6	必須	「部局マスタ」参照。
3	連携案件番号	キー。他システム発番の案件番号を示す。	VARCHAR2	60	必須	他システムより連携して得た案件で、開札執行済みである案件の連携案件番号を設定。
4	調達案件番号	電子入札システム側の調達案件番号を示す。	VARCHAR2	60	必須	他システムとの突合用に電子入札システム調達案件番号を設定する。
5	課係	当該案件の入札を執行する課係コードを示す。	VARCHAR2	6	必須	「課係マスタ」参照。
6	調達案件名称	調達案件名称を示す。	VARCHAR2	256	必須	全半角混在の日本語。
7	品目分類	奈良県品目コードは “10”工事, “20”コンサル となる。	VARCHAR2	6	必須	「品目マスタ」参照。
8	入札方式	入札方式番号を示す。	VARCHAR2	7	必須	「入札方式マスタ」参照。
9	入札時VE提出有無	VE提案書提出の有無を示す。※未使用。	CHAR	1	必須	“0”なし[初期値], “1”あり。※CSVは“0”固定となる。
10	落札方式	落札方式を示す。	CHAR	1	必須	“0”価格競争[初期値], “4”総合評価
11	調達区分	工事／コンサル区分を示す。	CHAR	2	必須	「工種マスタ」参照。 調達区分は “00”工事[初期値], “01”コンサル。
12	工種(業種)	工種(業種)コードを示す。	VARCHAR2	7	必須	
13	工事または業務内容	工事または業務の内容を示す。	VARCHAR2	200	必須	全半角混在の日本語。
14	公告日	入札公告日を示す。	DATE		必須	CSVは' yyyy/MM/dd' 。
15	履行期限区分	工期または履行期限の指定方法を示す。 ※未使用。	CHAR	1	必須	“0”設定なし[初期値], “1”日付指定, “2”日数指定 ※CSVは“0”固定となる。
16	履行期限(工期終了日)	履行期限区分“1”のときの履行期限(日付)を示す。 ※未使用。	DATE		可	CSVは' yyyy/MM/dd HH:mm' 。 ※CSVは””固定となる。
17	履行期限(工期日数)	履行期限区分“2”のときの履行期限(日数)を示す。 ※未使用。	NUMBER	4	可	契約日から〇〇日を設定。 ※CSVは””固定となる。
18	工事または納入場所	工事場所を示す。KAISATSU_BASHOのこと。	VARCHAR2	100	可	全半角混在の日本語。
19	入札執行回数	現在の入札(または見積)執行回数を示す。 例えば、 ・入札執行回数=1 and 見積執行回数=0 は、 入札 1 回目、 ・入札執行回数=0 and 見積執行回数=1 は、 見積 1 回目 (随意契約)、 ・入札執行回数=2 and 見積執行回数=1 は、 再入札を含む入札 2 回と 不落随契遷移による見積 1 回目、 を示す。	NUMBER	2	必須	CSVは“0”～“99”となる。
20	見積執行回数		NUMBER	2	必須	CSVは“0”～“99”となる。
21	案件状態	現在の案件状態を示す。SENI_STATUS	CHAR	2	必須	“50”入札書受付中 “55”入札書受付締切済み “60”開札執行済み “70”入札状況登録済み “80”入札結果登録済み “90”入札結果通知書発行済み “A1”中止(取止め)
22	案件入札状況	案件状態が“70”(入札状況登録済み)以降である場合の現在の入札状況を示す。ANKEN_STATUS	CHAR	2	可	“00”落札候補有り(または落札者決定) “01”取り止め “02”調査・保留 “03”再入札 “04”不落随契 “05”同価格者有り “06”随契決定メール送付済み 案件状態が“70”未満である場合は””。
23	入札締切日時	現在の入札執行について、入札締切通知書を発行した日時を示す。	DATE		可	CSVは' yyyy/MM/dd HH:mm' 。中止等で””もあり得る。
24	開札執行日時	現在の入札執行について、開札を執行した日時を示す。	DATE		可	CSVは' yyyy/MM/dd HH:mm' 。中止等で””もあり得る。
25	予定価格(税抜)	予定価格(税抜き)を示す。	VARCHAR2	20	可	金額はカマ(,)を含まない半角数字20桁以内(前“0”埋めなし)を設定する。 中止等で””もあり得る。
26	基準価区分	調査基準・最低制限・低入札価格を識別する。	CHAR	1	必須	“0”調査基準価格[初期値] “1”最低制限価格 “2”低入札価格
27	基準価格(税抜)	基準価格(税抜き)を示す。	VARCHAR2	20	可	金額はカマ(,)を含まない半角数字20桁以内(前“0”埋めなし)を設定する。 中止等で””もあり得る。
28	(総合評価)係数	落札方式“4”のときの係数(除算方式)を示す。	VARCHAR2	9	可	係数はカマ(,)を含まない半角数字9桁以内(前“0”埋めなし)を設定する。0～999 の範囲となる。 価格競争のときは””となる。



29	(総合評価)基準評価値	落札方式“4”のときの基準評価値(従来版,除算方式)を示す。	VARCHAR2	9	可	基準評価値は小数点(.)を含む半角数字9桁以内(前“0”埋めなし)を設定する。0～9999.999 の範囲となる。 価格競争のときは””となる。
30	(総合評価)評価点の満点	落札方式“4”のときの標準点(除算式)または価格評価点の満点(加算方式2)を示す。 奈良県の場合は通常、60点が満点となる。	VARCHAR2	20	可	評価点満点は小数点(.)を含む半角数字20桁以内(前“0”埋めなし)を設定する。0～99999.999 の範囲となる。 価格競争のときは””となる。
31	(総合評価)評価値計算方法	落札方式“4”のときの評価値計算方法を示す。	CHAR	2	可	“00”評価値手入力(従来版) “01”自動計算／除算方式(拡充版)[初期値] “02”自動計算／加算方式1(拡充版) “03”自動計算／加算方式2(拡充版) 価格競争のときは””となる。
32	事後審査有無	現在の入札執行について、事後審査へ遷移したかどうかを示す。	CHAR	1	必須	“0”未実施[初期値], “1”事後審査実施(または実施中)
33	事後審査資料の提出方法	事後審査を行う際の審査資料提出方法を示す。	CHAR	1	可	“1”郵送または持参 “2”事後審査時に添付して提出(システム利用) 事後審査未実施の場合は””となる。
34	入札結果登録日時	現在の入札執行について、入札結果通知書を発行した日時を示す。	DATE		可	CSVは'yyyy/MM/dd HH:mm'。結果登録前で””もあり得る。 案件入札状況が “02”(調査・保留)の場合は保留通知書発行日時が入る。
35	落札時くじ引き有無	落札者決定の際の電子くじ実施有無を示す。	CHAR	1	必須	“0”未実施[初期値], “1”電子くじ実施
36	落札者連絡書発行有無	落札者連絡書の発行を行ったかどうかを示す。	CHAR	1	必須	“0”未発行[初期値], “1”発行済み
37	(落札者)利用者登録番号	落札者の業者番号を示す。 他システム発番の業者番号(=電子入札システム受注者番号の下10桁)。	VARCHAR2	16	可	前“0”埋めして10桁を設定する。中止等で””もあり得る。
38	(落札者)業者番号(他システム用)	落札者の業者番号を示す。 他システムが独自に管理している(8桁)の業者番号。	VARCHAR2	8	必須	最大8桁の半角数字。
39	(落札者)業者名称	落札者の商号を示す。RENRAKUSAKI	VARCHAR2	120	可	日本語。中止等で””もあり得る。
40	(落札者)紙入札フラグ	落札者が紙入札参加であるかどうかを示す。	CHAR	1	必須	“0”電子入札[初期値], “1”紙入札
41	(落札者)ＪＶ参加フラグ	落札者がＪＶ参加であるかどうかを示す。	CHAR	1	必須	“0”単独[初期値], “1”ＪＶ参加
42	(落札者)共同企業体名称	落札者の(落札者)ＪＶ参加フラグ“1”のときの共同企業体名称を示す。	VARCHAR2	120	可	全半角混在の日本語。ＪＶ参加フラグ“0”のとき””となる。
43	(落札者)くじ番号	落札者が届け出たくじ番号を示す。	CHAR	3	可	最大3桁の半角数字。
44	(落札者)落札価格	落札者の入札価格(税抜き)を示す。	VARCHAR2	20	可	金額はカンマ(,)を含まない半角数字20桁以内(前“0”埋めなし)を設定する。 参加者なし・中止等で””もあり得る。
45	(落札者)価格評価点	総合評価時、落札者の価格評価点を示す。	VARCHAR2	20	可	評価点は小数点(.)を含む半角数字20桁以内(前“0”埋めなし)を設定する。0～9999.999 の範囲となる。 価格競争のときは””となる。
46	(落札者)技術評価点	総合評価時、落札者の技術評価点を示す。	VARCHAR2	20	可	評価点は小数点(.)を含む半角数字20桁以内(前“0”埋めなし)を設定する。0～9999.999 の範囲となる。 価格競争のときは””となる。
47	(落札者)評価値	総合評価時、落札者の評価値を示す。	VARCHAR2	20	可	評価値は小数点(.)を含む半角数字20桁以内(前“0”埋めなし)を設定する。0～9999.999 の範囲となる。 価格競争のときは””となる。
48	(入札)利用者登録番号	キー。当該案件入札参加の業者番号を示す。 他システム発番の業者番号(=電子入札システム受注者番号の下10桁)。 紙入札を除き開札執行に至らない業者はここに載らない。	VARCHAR2	16	※	前“0”埋めして10桁を設定する。  ※キーなので値設定必須だが‘入札参加者なし’の場合、CSVは””となる。このとき以下項目もすべて””となる。
49	(入札)業者番号(他システム用)	入札者の業者番号を示す。 他システムが独自に管理している(8桁)の業者番号。	VARCHAR2	8	必須	最大8桁の半角数字。
50	(入札)業者名称	入札者の商号を示す。RENRAKUSAKI	VARCHAR2	120	可	日本語。中止等で””もあり得る。
51	(入札)紙入札フラグ	入札者が紙入札参加であるかどうかを示す。	CHAR	1	必須	“0”電子入札[初期値], “1”紙入札
52	(入札)ＪＶ参加フラグ	入札者がＪＶ参加であるかどうかを示す。	CHAR	1	必須	“0”単独[初期値], “1”ＪＶ参加
53	(入札)共同企業体名称	入札者の(入札)ＪＶ参加フラグ“1”のときの共同企業体名称を示す。	VARCHAR2	120	可	全半角混在の日本語。ＪＶ参加フラグ“0”のとき””となる。
54	(入札)くじ番号	現在の入札執行について、入札者が届け出たくじ番号を示す。	CHAR	3	可	最大3桁の半角数字。
55	(入札)受領フラグ	現在の入札執行について、業者からの入札書提出があったかどうか示す。	CHAR	1	必須	“0”未受領[初期値], “1”受領済み 紙入札業者は常に“0”となる。
56	(入札)業者状況	現在の入札執行について、開札執行時の業者状況を示す。	CHAR	2	必須	





							“00”通常参加[初期値] = 入札金額あり※2 “01”開札前辞退(辞退届含む) = 入札金額なし※1, ※4 “02”欠格 = 入札金額なし※3 “10”無効(開札後) = 入札金額あり※2 “11”失格(開札後) = 入札金額あり※2 “20”開札前無効 = 入札金額なし※1 “21”辞退(開札後) = 入札金額なし “22”取消(開札前後とも) = 開札前の取消は入札金額なし※1 開札後は取消は入札金額あり※2  ※1. 電入は札を開く前に “01”辞退, “20”無効, “22”取消 と することができる。 また、電子入札業者であっても札を開く前に(発注者が) これらを設定することができる。 ※2. 札を開いた後は “10”無効, “11”失格, “22”取消 でも 入札金額を設定する。 つまり、札を開いたら入札金額は1円以上、札を開かない場合に “”空となる。尚、0円入札は許可しない。 ※3. 技術提案審査結果(総合評価)で不合格となった場合 ※4. 参加資格審査で資格有りとなり、技術提案審査結果(総合評価) で結果(合格・不合格)を何も返さなかった場合 また、入札書不着となった場合
73	3 回目／入札価格(税抜)	入札参加 3 回目の入札価格(税抜き)を示す。	VARCHAR2	20	可	金額はカマ(,)を含まない半角数字20桁以内(前“0”埋めなし)を設定する。 札を開かない場合など“”もあり得る。	
74	3 回目／価格評価点	総合評価時、入札参加 3 回目の価格評価点を示す。	VARCHAR2	20	可	評価点は小数点(.)を含む半角数字20桁以内(前“0”埋めなし)を設定する。0～9999.999 の範囲となる。 価格競争は“”。	
75	3 回目／技術評価点	総合評価時、入札参加 3 回目の技術評価点を示す。	VARCHAR2	20	可	評価点は小数点(.)を含む半角数字20桁以内(前“0”埋めなし)を設定する。0～9999.999 の範囲となる。 価格競争は“”。	
76	3 回目／評価値	総合評価時、入札参加 3 回目の評価値を示す。	VARCHAR2	20	可	評価値は小数点(.)を含む半角数字20桁以内(前“0”埋めなし)を設定する。0～9999.999 の範囲となる。 価格競争は“”。	
77	3 回目／摘要	入札参加 3 回目、開札時に(発注者が)入力した摘要文を示す。	VARCHAR2	100	可	全半角混在の日本語。	
78	3 回目／業者状況	入札執行 3 回目について、開札執行時の業者状況を示す。	CHAR	2	可	  “00”通常参加[初期値] = 入札金額あり※2 “01”開札前辞退(辞退届含む) = 入札金額なし※1, ※4 “02”欠格 = 入札金額なし※3 “10”無効(開札後) = 入札金額あり※2 “11”失格(開札後) = 入札金額あり※2 “20”開札前無効 = 入札金額なし※1 “21”辞退(開札後) = 入札金額なし “22”取消(開札前後とも) = 開札前の取消は入札金額なし※1 開札後は取消は入札金額あり※2  ※1. 電入は札を開く前に “01”辞退, “20”無効, “22”取消 と することができる。 また、電子入札業者であっても札を開く前に(発注者が) これらを設定することができる。 ※2. 札を開いた後は “10”無効, “11”失格, “22”取消 でも 入札金額を設定する。 つまり、札を開いたら入札金額は1円以上、札を開かない場合に “”空となる。尚、0円入札は許可しない。 ※3. 技術提案審査結果(総合評価)で不合格となった場合 ※4. 参加資格審査で資格有りとなり、技術提案審査結果(総合評価) で結果(合格・不合格)を何も返さなかった場合 また、入札書不着となった場合	
79	予備 1	予備。※未使用。	VARCHAR2	100	可	※CSVは“”で可。	
80	予備 2	予備。※未使用。	VARCHAR2	100	可	※CSVは“”で可。	

1. CSVファイルが日本語を含む場合、文字コードは SJIS とする。
2. CSVファイルにヘッダ・レコードはない、トレーラもエンド・レコードもない。すべて、複数のデータ・レコードのみで構成されるものとする。
3. データ・レコードの列数は固定で ‘80’ とし、各列は『』（ダブルクォーテーション）で囲み、『』（カンマ）で区切るものとする。例）“2900”,“123”,“あいうえお”
4. 1 行末尾の改行コードは Java「System.getProperty(“line.separator”）」とし、改行コードのみの(空)行は読み飛ばす。
5. 1 つのCSVファイルは、1 以上複数の案件とその入札に参加する0以上複数業者の情報で構成するものとする。
6. キーは「機関番号，部局，連携案件番号，(入札)利用者登録番号」とするが、CSVファイル上の‘(入札)利用者登録番号’には値がない場合があるので注意。